



2010年3月期 第1四半期 決算概要とトピックス

代表取締役社長

高橋 晃

2009年 7月 30日

決算概要

(億円)

| | 09/3期 Q1 | 10/3期 Q1 | 増減率 |
|------|-------------|-------------|------|
| 売上高 | 778 | 775 | 0% |
| 粗利益 | 422 (54.3%) | 416 (53.6%) | -2% |
| 販管費 | 260 (33.4%) | 251 (32.3%) | -4% |
| 営業利益 | 162 (20.9%) | 165 (21.3%) | 1% |
| 経常利益 | 189 (24.2%) | 169 (21.9%) | -10% |
| 純利益 | 140 (18.0%) | 108 (14.0%) | -23% |

期中平均レート

US\$ 105円
EUR 163円

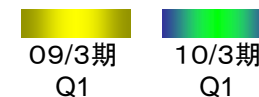
97円
133円



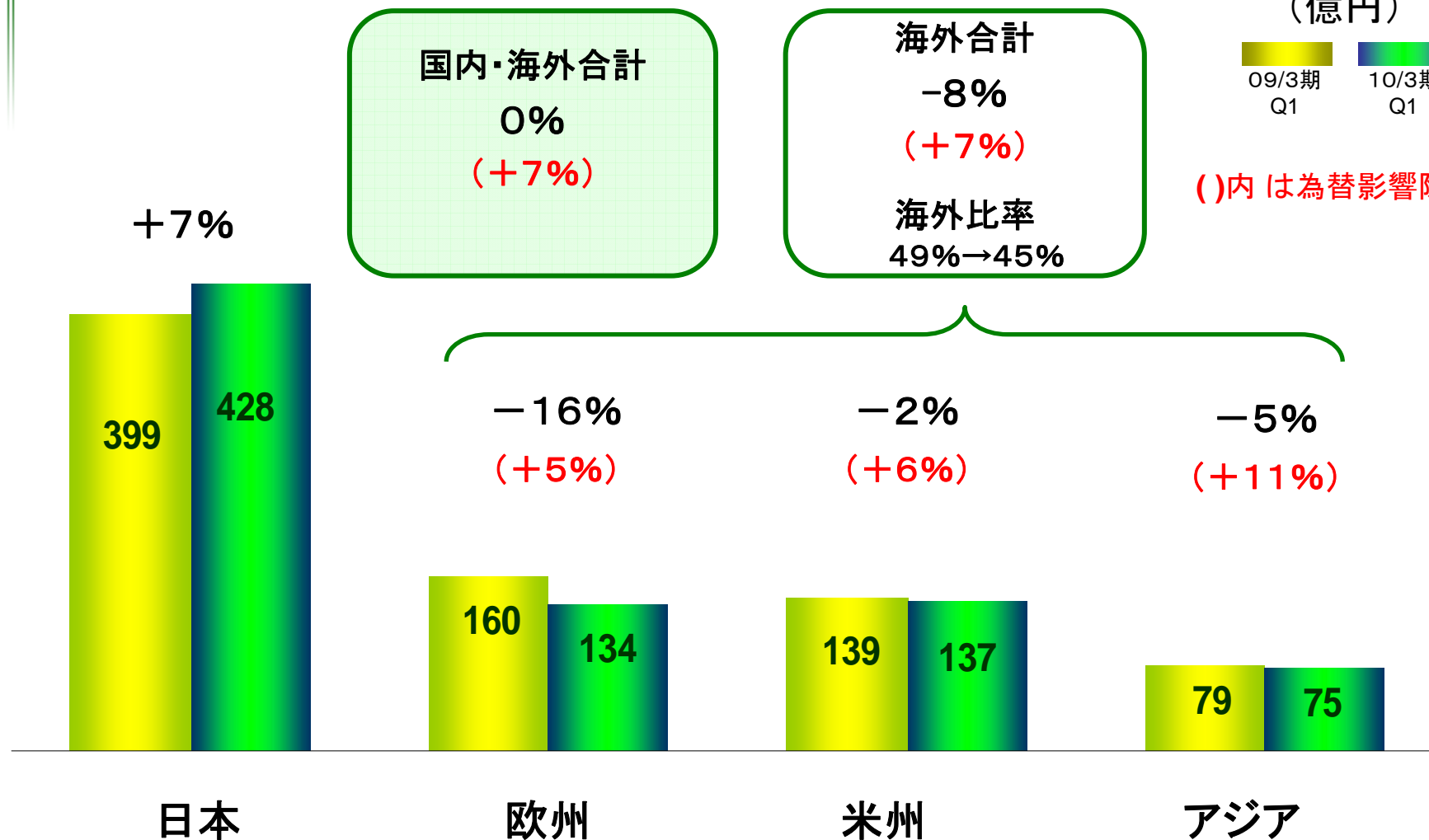
売上高に-7%影響

売上高 (地域別)

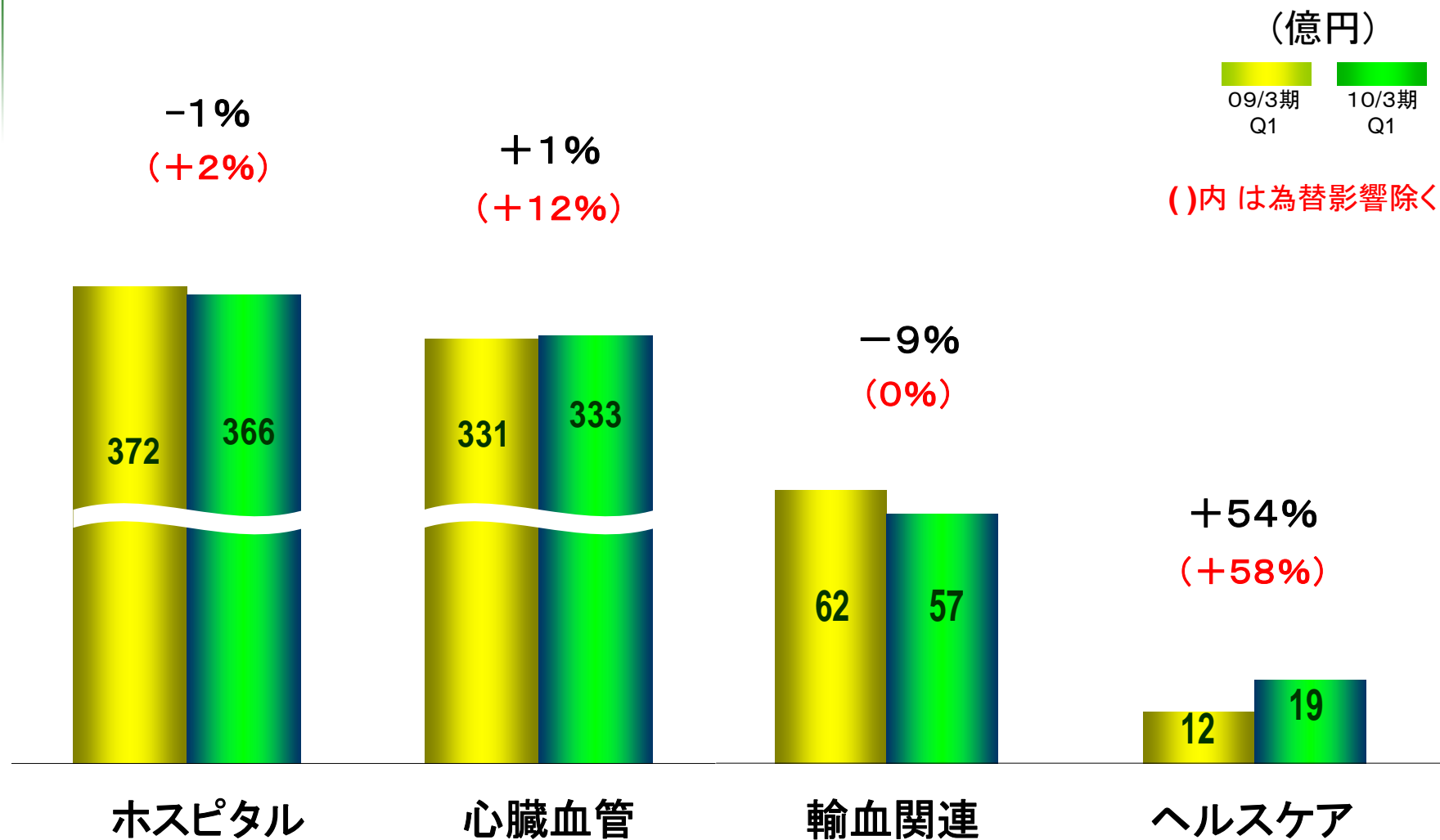
(億円)



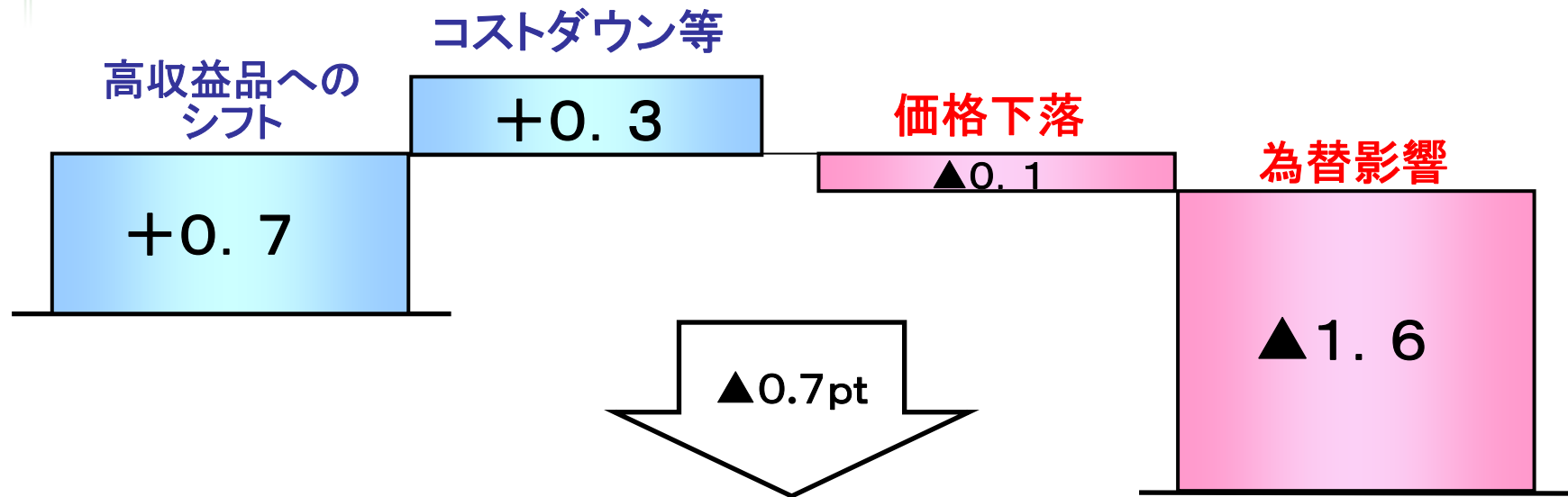
()内は為替影響除く



売上高 (商品群別)



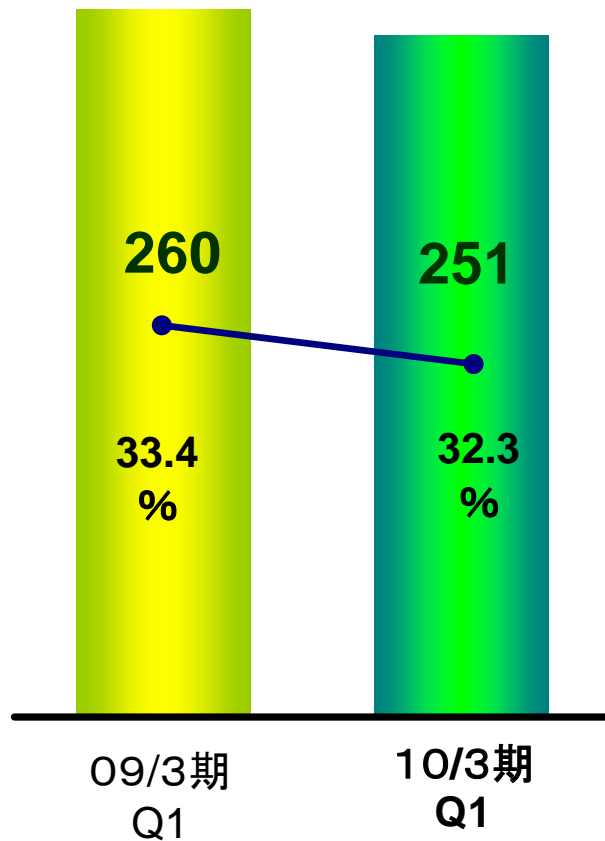
粗利益率(%)



09/3期 Q1:54.3% → 10/3期 Q1 :53.6%

販管費

(億円)



売上高販管費比率が1.1ポイント改善

国内： 研究開発は強化

退職給付費用増加を経費減で吸収

海外： 全般に抑制、為替影響を含め改善

業績見通し …… 上期見通しを上方修正

(億円)

| | 10/3期 Q1実績 | 10/3期 上期見通し | 10/3期 年間見通し |
|---------|------------------------|---------------------|----------------|
| 売上高 | 775 | 1,540 | 3,150 |
| 営業利益 | 165 (21.3%) | 280 (18.2%) | 560 (17.8%) |
| 経常利益 | 169 (21.9%) | 280 (18.2%) | 560 (17.8%) |
| 純利益 | 108 (14.0%) | 180 (11.7%) | 375 (11.9%) |
| 期中平均レート | US\$ 97 円 EUR 133 円 | Q2 90 円 Q2 120 円 | 95円 125円 |

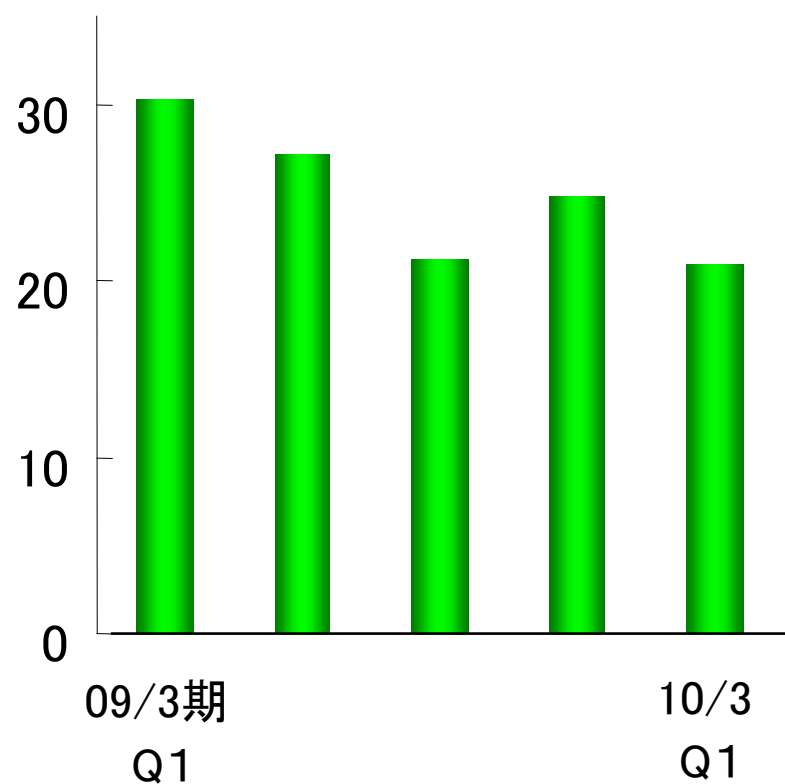
トピックス

- ◆直近の業績動向
- ◆カテーテル事業の成長力について
- ◆その他

大型機器は影響あるも、全体へのインパクト小

心臓手術用大型機器の売上推移(海外)

(億円)



心臓手術用大型機器
人工心肺用システム
「サーズアドバンストパーフュージョンシステム1」

新興国は、売上大きい中国が順調

(US\$ Mil.)

20

15

10

5

0

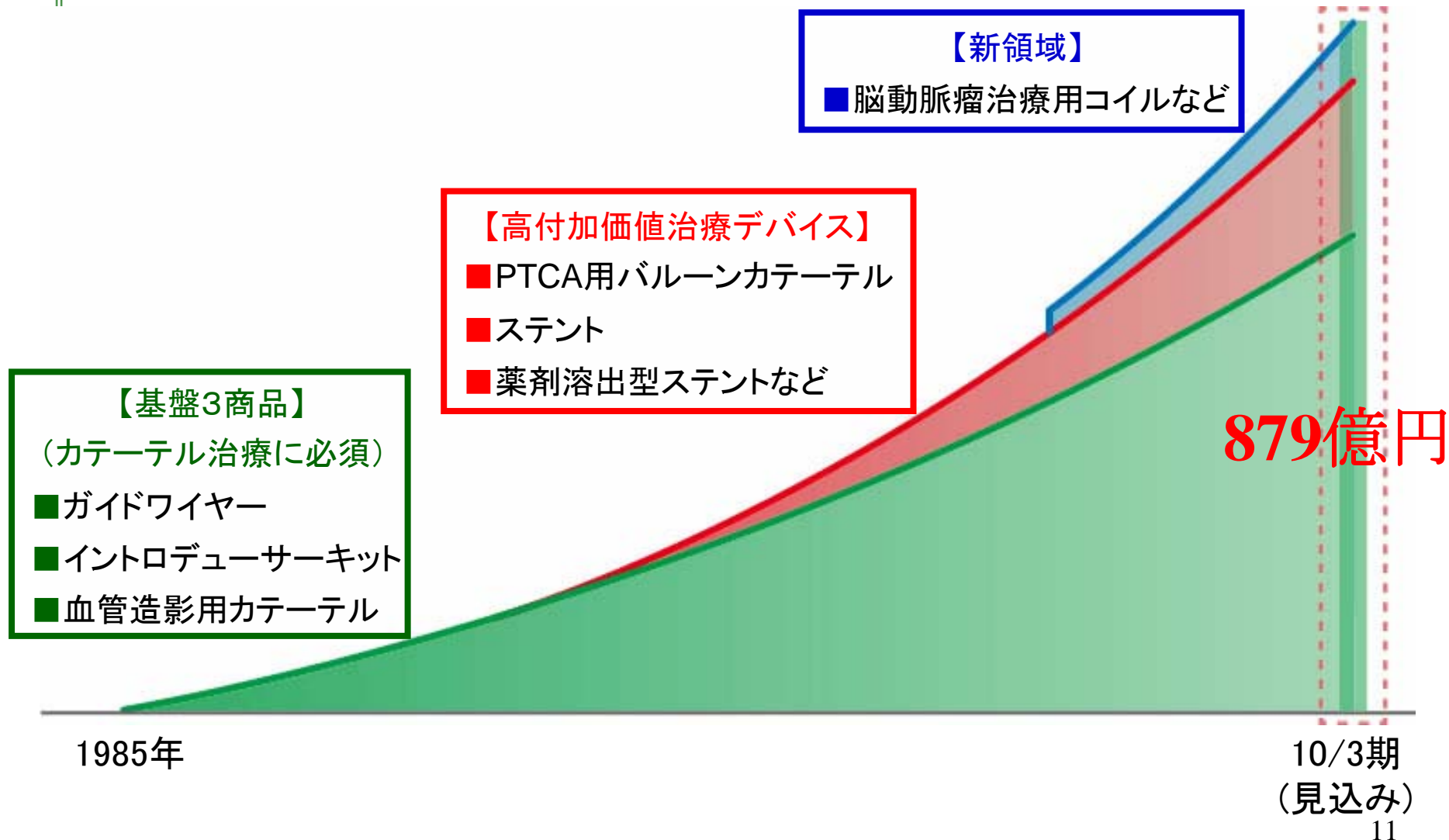
09/3期 10/3
Q1 Q1

中国

中南米

東欧・ロシア

独自の成長力で事業全体を拡大

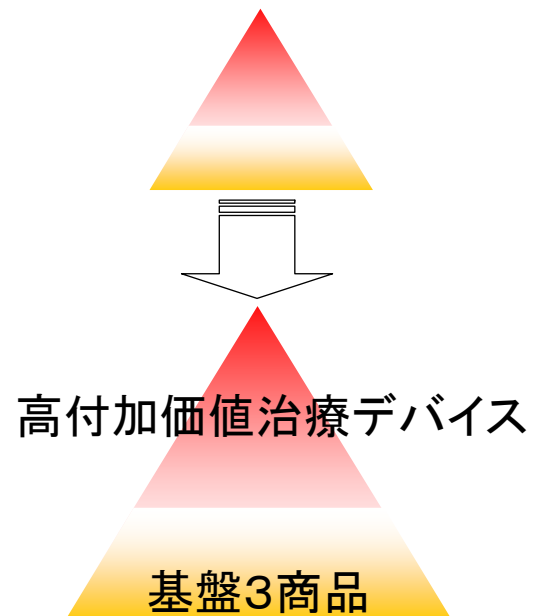


(イメージ図)

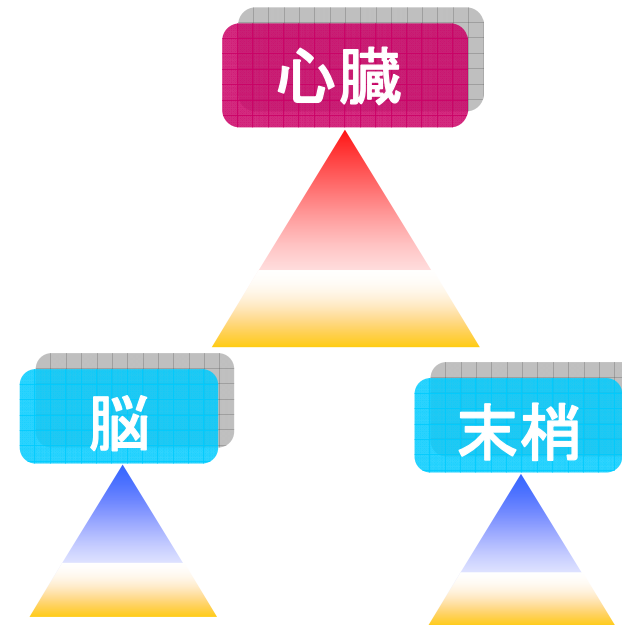
成長する“基盤3商品”

“品質力”でテルモ商品にシフト

【市場拡大と連動】



【治療領域の拡大と連動】

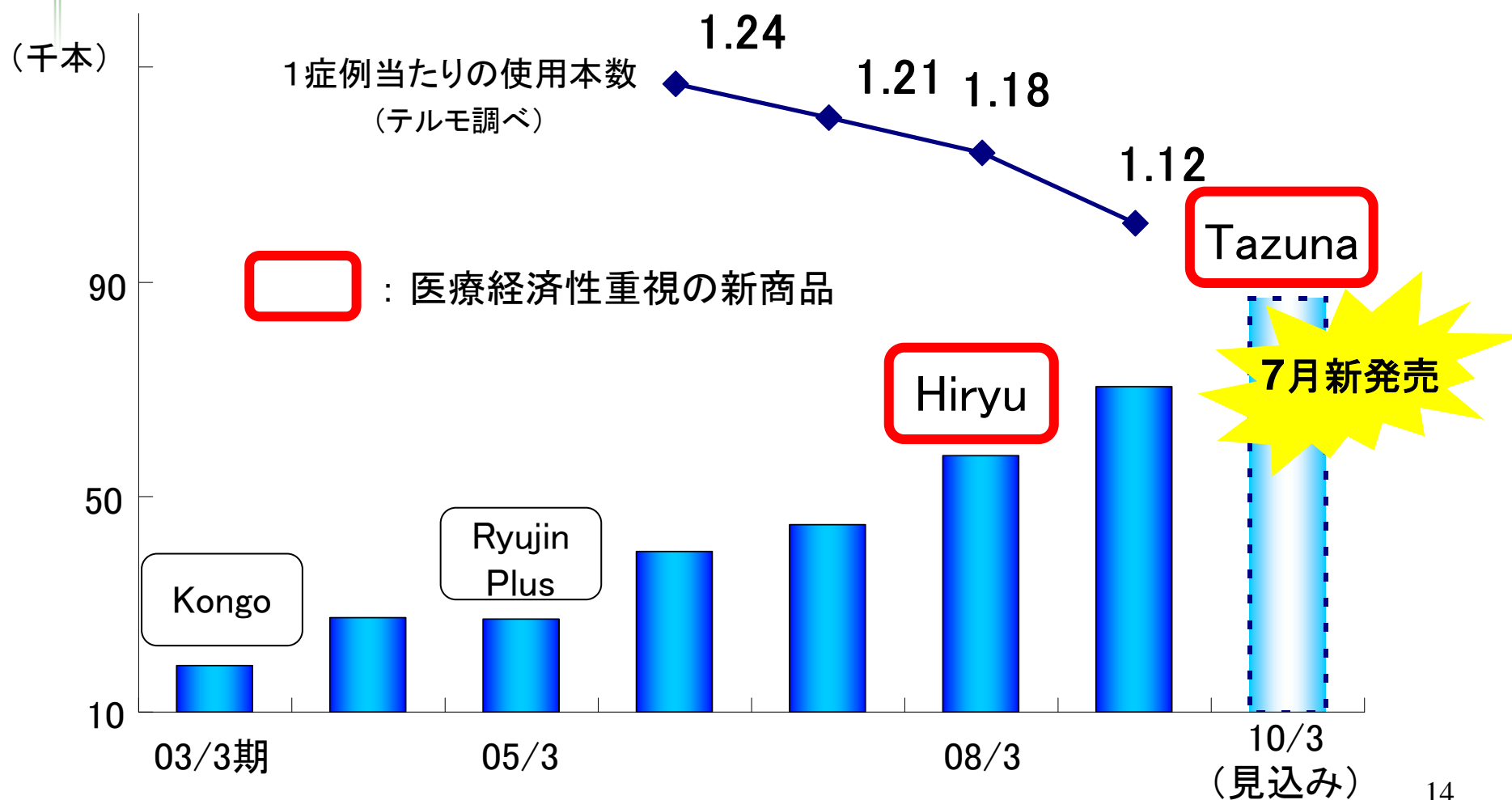


広がるガイドワイヤーのポートフォリオ



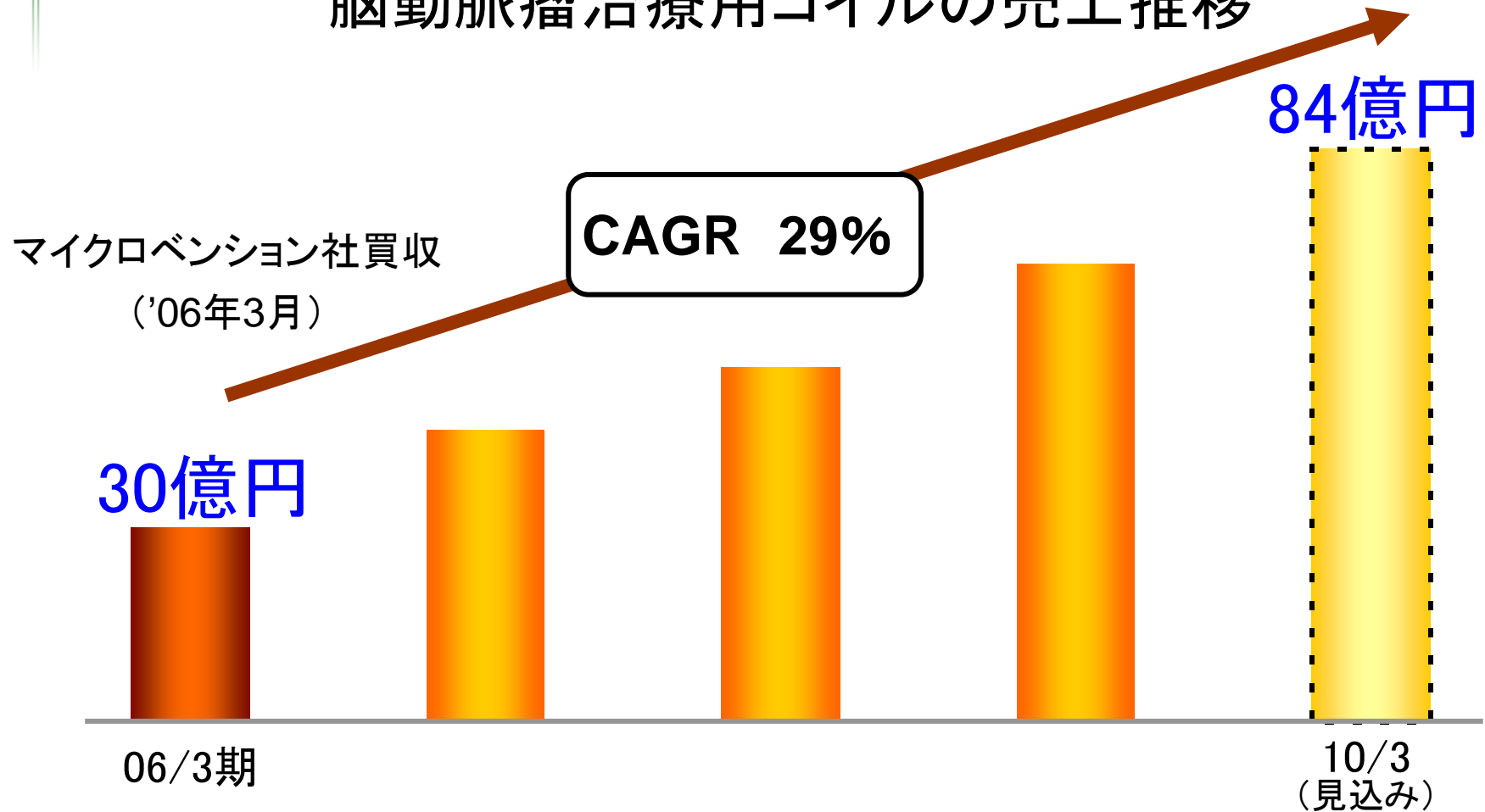
医療経済性に優れた新商品で拡大

PTCA用バルーンカテーテルの商品ラインアップと販売数量(国内)



“新領域”が新たな成長の柱に

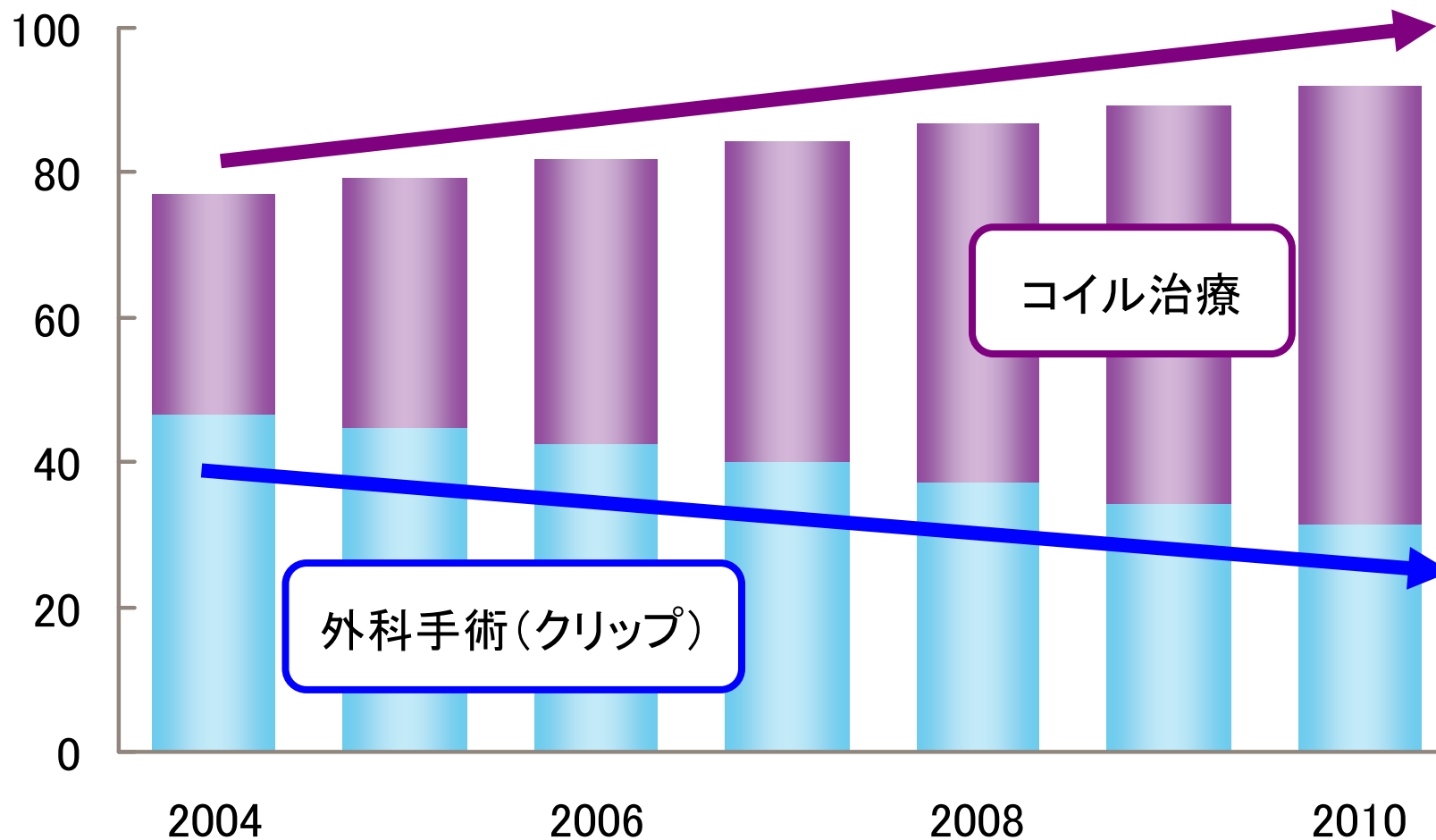
脳動脈瘤治療用コイルの売上推移



今後もコイル市場は拡大

全世界症例数
(千)

脳動脈瘤治療の市場推移



(テルモ調べ)

買収後、シナジーを追求

脳動脈瘤治療の流れ

【アクセスデバイス】
テルモの技術

- ・基盤3商品
- ・マイクロワイヤー
- ・ガイディングカテーテル

+

《治療用コイル》
マイクロベンションの技術

- ・ベアコイル
- ・ハイドロソフト
- ・ハイドロコイル

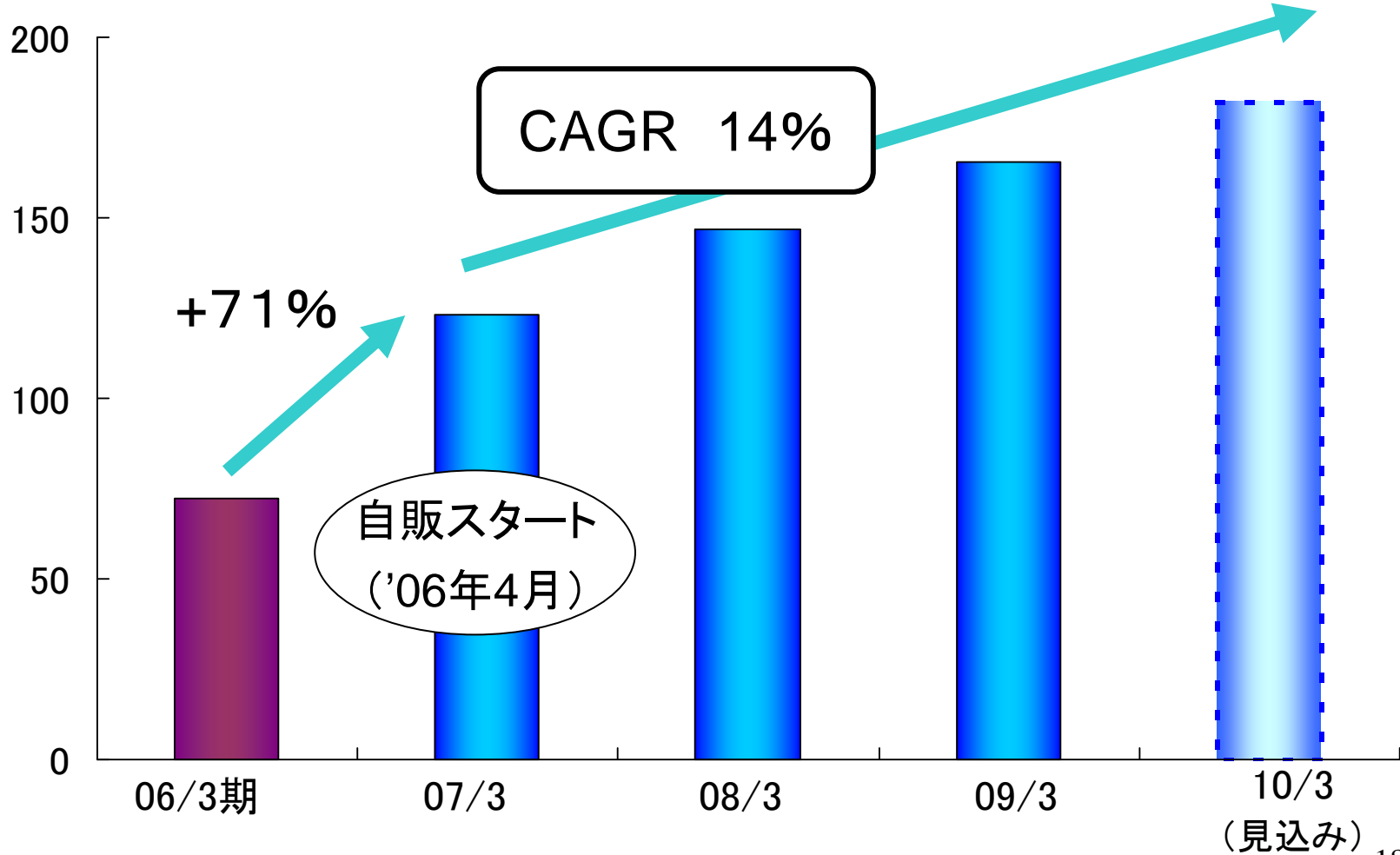


腹部末梢血管用コイル

その他のトピックス(1)米国

(US\$ Mil.)

自販後、持続的成長トレンドへ

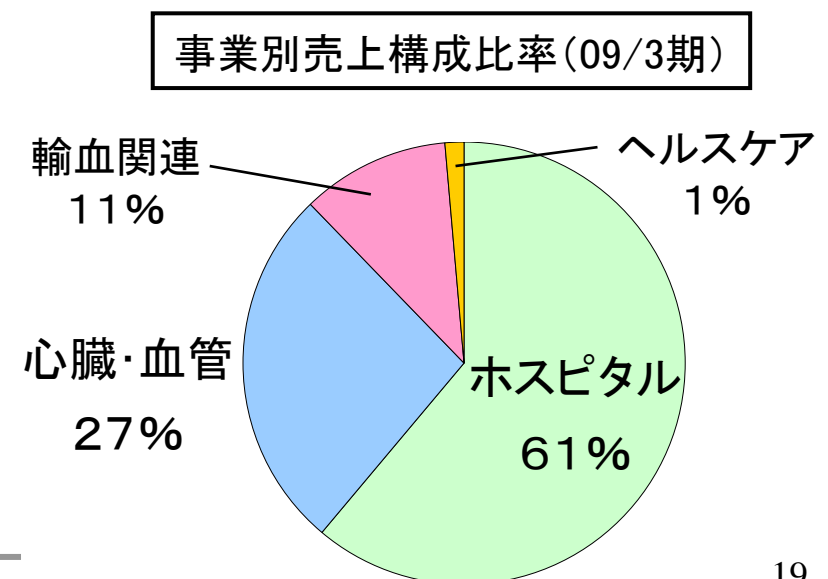
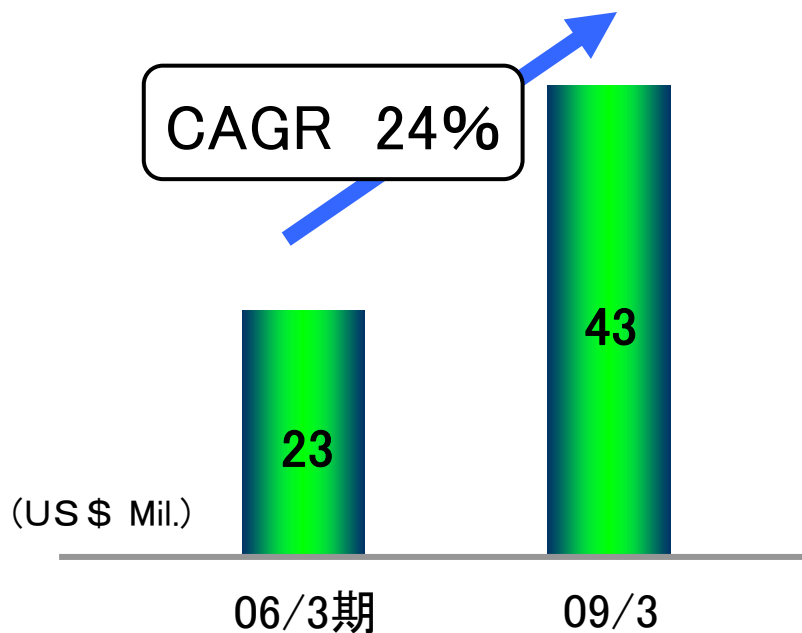


(US市場カテーテル商品売上高)

その他のトピックス(2)タイ

テルモブランドを活かしたフルライン展開

- ◆ホスピタル: セーフティ戦略を推進
- ◆糖尿病事業にも参入
- ◆カテーテルNo. 1のプレゼンス (テルモシェア: 40% DES除く)



まとめ

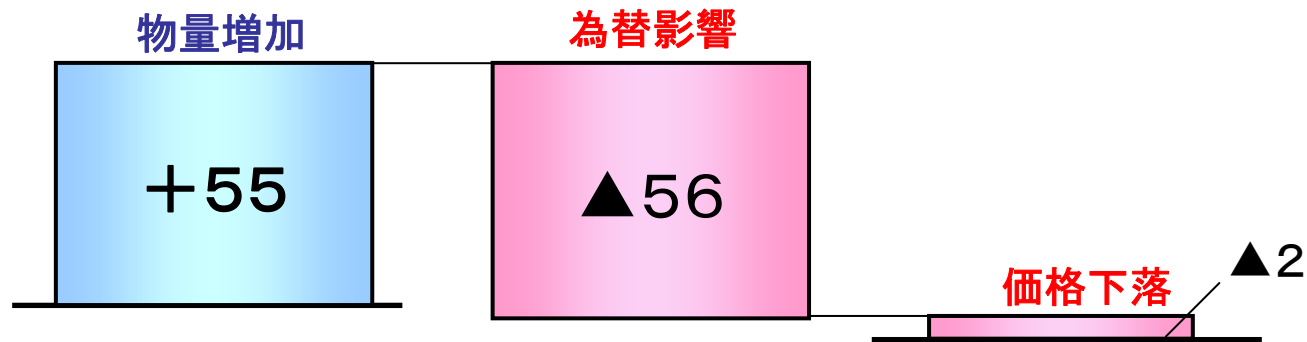
- ◆円高影響大きいが、克服しつつある
- ◆収益力向上に一定の成果
- ◆増収、増益の達成に向け、順調にスタート

参考資料

売上、営業利益の増減要因

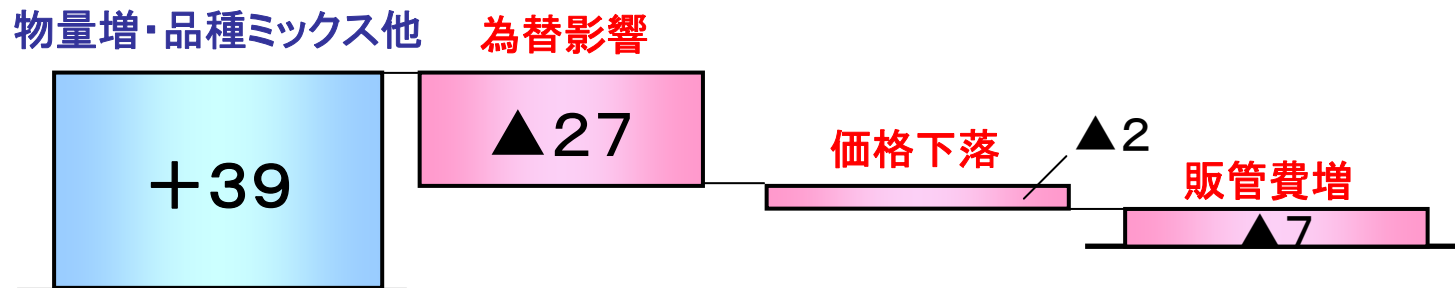
【売上】

前年 778億円 → 775億円 ▲3億円



【営業利益】

前年 162億円 → 165億円 +3億円

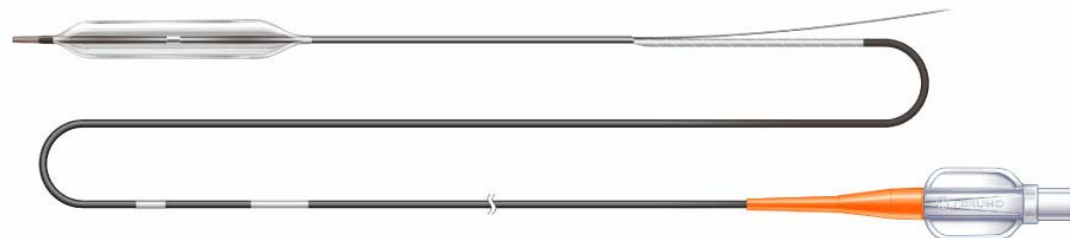


参考情報

(単位:百万円)

| | 2009年3月期 第1四半期 | 2010年3月期 第1四半期 | 2010年3月期 見通し |
|---|-------------------|-------------------|-----------------|
| 研究開発費 | 3,772 | 3,922 | 19,000 |
| 減価償却費 | 4,641 | 4,481 | 21,000 |
| 設備投資額 | 3,235 | 5,157 | 23,000 |
| フリーキャッシュフロー <small>フリーキャッシュフロー=営業CF+投資CF</small> | △ 10,237 | 493 | |
| 一株当たり四半期(当期)純利益(円) | 72.27 | 56.94 | 197.47 |

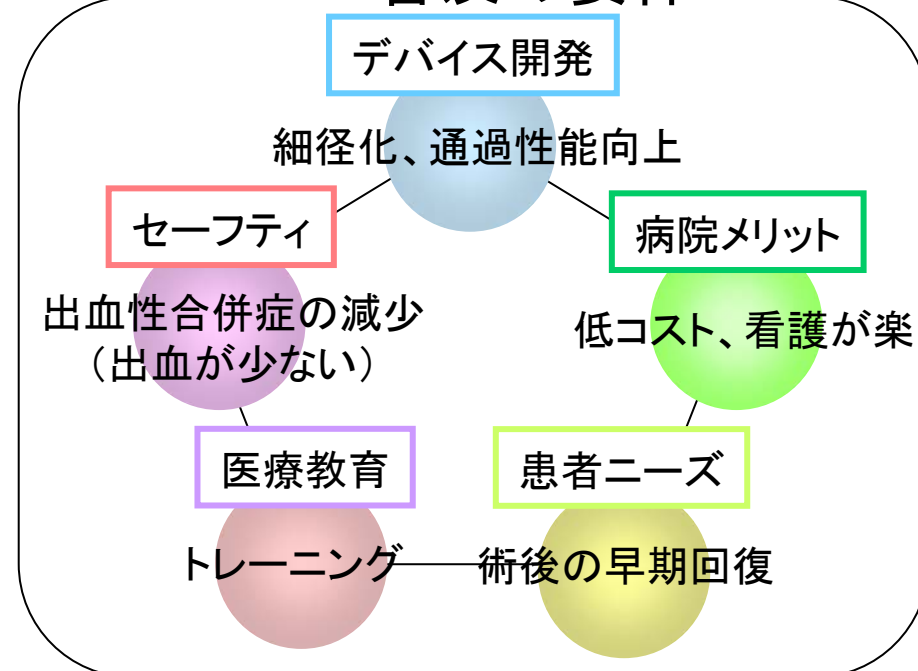
TRIにも適したPTCA用バルーンカテーテル 「Tazuna」新発売



* TRI*とは・・・

手首の細い動脈からカテーテルを挿入し、冠動脈にアプローチする手技です。より患者さんの負担が少なく、治療後すぐに歩けるようになるため、日帰り手術も可能となります。

TRI 普及の要件



《おことわり》

本資料のうち、業績予想ならびに将来予測は、現時点で入手可能な限られた情報に基づき、テルモで判断した予想であり、潜在的なリスクや不確実性が含まれています。そのため様々な要因により、実際の業績等が変動する可能性があることをご承知おきください。実際の業績に影響を与えうる重要な要素には、テルモの事業領域を取り巻く経済情勢、為替レートの変動、競争状況などがあります。

また、市場規模等については、当社の独自の調査を含んでおります。